国家安全部が我が国の国家安全を脅かす典型的事件を公表（央視新聞クライアント端末
2024年4月14日）¹

2025年6月23日

CISTEC 事務局

※央視新聞記事仮訳

今年（2024年）4月15日は、九回目の全人民国家安全教育デーで、総体国家安全観が打ち出されてから10周年でもある。国家安全部は本日、我が国の国家安全を脅かした典型的な事件を数件公表した。

国家安全機関が摘発した国外企業による我が国のレアアース分野の国家秘密窃取事件

この数年、需要鉱物は世界主要大国の戦略的競争の新分野となっている。重要鉱物資源の1つであるレアアースは、経済の高品質な発展に助力すると同時に、国家安全と密接に関連している。このほど、国家安全機関は国外の某非鉄金属企業が我が国のレアアース分野の国家秘密を不法に収集・窃取した事件を摘発し、事件関係者に対して法に従って強制措置を講じた。

成某（成なにがし）はもと我が国の某レアアース企業の副総経理で、業務中に我が国のレアアース業界の内部情報に触れた。日常のビジネス往来の中で、成某は国外の某非鉄金属企業の上海支社の従業員・叶某某（叶なにがし）と知り合った。ある我が国のレアアース買付・備蓄競争入札会議終了後、叶某某は探りを入れるように成某に入札会議の落札状況を求めたところ、成某から拒絶されなかった。

その後、勤務先の国外企業の外国籍従業員の指図の下で、叶某某は金銭報酬を餌に、成某に我が国のレアアース買付・備蓄の詳細、指令的計画等の情報をひそかに何度も要求した。レアアース業界の秘密に関わる人員であった成某は、関連情報が国家秘密に関わり、外部への提供が禁止されていることを知りながら、業務で得た我が国のレアアース買付・備蓄の種類、数量、価格等の情報を叶某某に提供し、かつ何度も相手から巨額の報酬を受け取っていた。

国家保密部門の鑑定の結果、成某が国外に提供した内容は7件が機密級国家秘密²に関わ

¹（訳者注）「国家安全部公布危害我国国家安全典型案件」（央視新聞客戶端 2024年4月14日）https://content-static.cctvnews.cctv.com/snow-book/index.html?item_id=18043345962474554428

²（訳者注）「機密級国家秘密」について、《中華人民共和國保守国家秘密法》（2024年2月27日第二次修訂）第十四条に「国家秘密の秘密等級は絶密、機密、秘密の三等級に分ける。絶密級国家秘密は最重要の国家秘密で、その漏洩は国家安全と利益が特に重大な損害を受けるものである；機密級国家秘密は重要な国家秘密で、その漏洩は国家安全と利益に重大な損害を受けるものである；秘密級国家秘密は一般的な国家秘密で、その漏洩は国家安全と利益が損害を受けるものである」とある。参考「中□人民共和國保守国家秘密法」（中国政府網 2024年2月28日）

っていた。2023年11月、江西省南昌市中級人民法院は“国外向けに国家秘密を買収し、不法に提供した罪”によって、叶某某に有期懲役11年、政治的権利剥奪2年、個人財産50万人民元の没収の判決を下した；“国外向けに国家秘密を不法に提供した罪、収賄罪”によって、成某に懲役11年6か月、政治的権利剥奪2年、個人財産90万人民元、罰金10万人民元の判決を下した。

この数年、国家安全機関は総体国家安全観を実践しており、重要鉱物資源分野の国家安全を守ることを重要任務とし、断固として職務を果たし、さまざまな我が国の重要鉱物資源に対する情報の秘密を盗む活動を厳格に防止し、かつ法に従って取り締まり、我が国の資源の安全を強力に守っている。

国家安全機関が断ち切った我が国の稲種および種子生産技術を窃取する“黒幕”

食料の安全は国家安全の重要構成部分であり、国の経済と人民の生活に関わっている。最近、国外のスパイ情報機関は我が国の食料分野への浸透を継続的に強化しており、我が国の核心となる科学研究情報を窃取し、我が国の水稻種子産業のコアコンピタンスと食料の安全に重大な危害を及ぼしている。この際立った状況に対して、国家安全機関は積極的に取り締まりを行い、2022年から2023年にかけて一連のスパイ秘密窃取事件を集中的に摘発し、法に従って事件関係者100名近くを調査・審査し、事件に関与した重点企業11社を処分し、法に従って関係者の刑事責任を追及した。

国外のスパイ情報機関が我が国の稲種および種子生産技術を窃取した事件において、国家安全機関は、もと国内の某農業技術企業の総経理であった朱某某（朱なにがし）が個人の経済的利益を不正に得るために、国外のスパイ情報機関といわゆる“協力”関係を構築し、国外のスパイ情報機関の要求に対して“来るものは拒まず”で、“共同種子生産”の名義で、前後して相手方に5種類の親稲の稲種を違法に販売し、正常な販売価格を超える見返りを得ていたことを明らかにした。いわゆる“業務”をより一層拡張するため、朱某某はさらに新たな農業技術会社を創設し、この会社を通じて、継続して国外に我が国の良質な親稲の稲種を大量に販売した。

国の関連する保密部門の鑑定の結果、朱某某は国外に不法に提供した種子を情報（インテリジェンス）とされた。《中華人民共和国刑法》に基づいて、国家安全機関は法に従って朱某某に刑事強制措置を講じた。

2024年1月、安徽省合肥市中級人民法院は“国外に不法に情報を提供した罪”で朱某某に懲役1年6か月の判決を下した。このほか、国家安全機関はさらに法に従ってその他の17名の事件関係者に対して行政処罰を与え、かつ事件関係企業に対して深く掘り下げて詳しく調べ、さらに一部の国内の種苗業企業が長年にわたって不法に利益を追求し、外国に我が国のさまざまな良質な種子資源を継続して大量に販売していた状況を明らかにし、我が国の食料分野の重大な安全上の潜在的危険を効果的に取り除いた。

https://www.gov.cn/yaowen/liebiao/202402/content_6934648.htm

この数年、国家安全機関は法に従って食料安全分野のさまざまなスパイ秘密窃取活動を取り締まっており、国外から我が国の種子資源に延ばされた秘密を盗む“黒幕”を強力な措置を講じて断ち切り、食料安全分野の秘密漏洩リスクの潜在的危険を強力に防止・阻止している。

“翻牆（ネット規制を突破する）”してインターネットに接続した大学生が不用意に国外の反中政党に加入

この数年、国外の反中国敵対勢力がインターネット等の手段を利用して国内の人々にイデオロギーの“心理戦”を展開し、国内で注目されている事件を歪曲して煽り立て、我が国政治制度を攻撃し誹謗中傷している。一部の社会経験の浅い若年層の学生が扇動され、惑わされ、不用意に罠にはまり、敵対活動に巻き込まれて参加し、国外の反中勢力の“駒”となっている。このほど、国家安全機関は国外の反中政党が某大学の学生を丸め込んで活動に参加させた典型的な事件を解決し、国外の反中勢力の浸透・調略活動を強力に取り締まり、速やかにリスクの潜在的危険を取り除くことに成功した。

宋某（宋なにがし）は某大学の在学学生で、以前、国外のウェブサイトを開覧した際、ウェブページから広告のリンクがプッシュ通知され、彼に某反中政党の公式サイトにジャンプするよう誘導した。好奇心と珍しさから、またこのサイトのニュースを無料で閲覧できるようにするため、宋某はウェブサイトの指示に従って、当該政党への加入を申請し、氏名、電話番号および電子メール等の個人情報を入力した。

登録後、宋某は当該反中政党から送られてくる電子メールを続々と受け取ったが、内容の大部分は当該世知王の政治綱領、および最近の反中活動の状況の紹介で、さらに宋某にボランティアとして当該政党の票集めや資金調達などの活動に協力するよう招待するものであった。宋某は当該反中政党に加入するだけでなく、国外の多くの反中アカウントをフォローし、反中に関するコンテンツの閲覧、転送、コメントを行った。

綿密な偵察によって固めた証拠に基づいて、国家安全機関は法に従って宋某に対して行政審問を行い、《中華人民共和国反スパイ法》の関連規定に基づいて、宋某に警告の行政処罰決定を下し、行政処罰決定書を発行した。教育転化（※教育や指導を行ってその誤りを改め、社会に復帰させること）を通じて、宋某は自身の行為に反省の態度を示し、国外の反中ウェブサイトのフォローをやめ、関連するネガティブな言論を削除し、今後、同じような活動を行わないことを約束した。

警察官の法執行任務を故意に妨害した国外の中国駐在機関の中国人従業員の行政拘留

国の安全を自覚的に守ることはすべての公民が果たすべき法的義務であり、調査を受け入れないまたは協力しないなど、故意に国家安全機関の法執行任務を妨害した場合、法に基づいて処理される。このほど、国家安全機関の警察官がある外国機関の中国人従業員の符某（符なにがし）に対して故意に国家安全機関の法執行任務を妨害した行為で、行政処罰を行

った。

符某はある国外の中国駐在機関の中国人従業員である。最近、国家安全機関は符某が国家安全を脅かす疑いのある関連状況を知っているとの手がかりを入手し、調査・審問を行う必要があったが、符某は指定場所に出向いて調査・面談に協力することを拒否した。

法執行のフローに基づいて、国家安全機関の警察官は符某に国家安全業務の協力に関する法律規定、および業務に協力しないことによって負わなければならない法的責任を告知したが、符某は調査への協力を一貫して拒否し、さらに機会に乗じて勤務している国外の中国駐在機構の業務用グループチャットにいわゆる“警察に連行された”とのメッセージを送った。さまざまな手段を用いてあれこれと言い逃れしようとしたが無駄に終わり、符某は剛直に沈黙で抵抗する手段を講じて法執行業務への協力を拒否した。

国家安全機関は法執行記録装置によって符某が故意に検察官の法執行任務を故意に妨害した証拠を固め、《中華人民共和国反スパイ法》の関連規定に基づいて、行政拘留 15 日の処罰を与えた。

中国公民は、如何なる時においても、如何なる地に身を置いても、“国の安全は、一人一人に責任がある”ことをしっかりと心に刻み、国家安全の法律法規を遵守し、法に従って国家安全機関の業務を支援・協力し、自覚的に国の安全を守らなければならない。もし国の安全を脅かす疑わしい状況を発見したならば、直ちに 12339 番の国家安全機関通報受理電話に電話をかける、または国家安全機関通報受理プラットフォームにログインする等の手段で通報しなければならない。

(中央広播電視総台記者 王莉)